

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームはまなす

作成日 平成 22年8月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ホームが病院敷地内にある事から、地域の方達との交流が図りにくい。地域の方と交流するには車で出掛けなくてはならず、利用者も限られている。	地域の方達がホームに気軽に立ち寄り、利用者と交流を深めることができる。	地域の馴染みの場所に出かけ（Aコープ、物産館、ふるさと訪問）地域の方達と交流する機会を作る。	3ヶ月
2	14	他ホームへの相互訪問の機会が少なく、他事業所の取り組み等も参考にしていく必要がある。	他グループホームと定期的に職員間の相互訪問が出来業務改善に繋げられる。	グループホームの勉強会の時や、レク活動時、職員間の相互訪問が気軽に出来るよう管理者に相談する。	6ヶ月
3	12	重度化した利用者や、終末期の利用者に対して事業所としての支援方法や方針を本人や家族に随時説明していく必要がある。	退所となる身体状態を本人、家族、地域の人、行政の方達へ文書で説明できる。	継続的医療の必要な重度化した状態を明確化し、協力医療機関との連携を図る。	3ヶ月
4	35	4月よりスプリンクラーが設置されたが機器の取り扱いを職員が熟知していない	非常災害時の機器がスムーズに取り扱える。	毎月自主訓練し、機器の取り扱いや、通報訓練、避難誘導訓練を定期的に行い、地域近隣の協力も頂く。	3ヶ月
5	49	一人ひとりの希望に添った外出支援となっていない。	一人ひとりの行きたいところの希望を把握できる。	担当職員との信頼関係を深め、家族との連携協力をお願いしながら支援していく。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。